Press Release

ヒビノ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南 3-5-14
https://www.hibino.co.jp/

報道関係各位

2025年6月19日

生成AI活用によりクリエイターの創造性を拡張、バーチャルプロダクションの普及を加速する

音と映像のトータル・ソリューション企業の ヒビノ、WIT COLLECTIVEと 次世代エンターテインメント開発でパートナーシップ構築

～　第一弾として、7月に開催するコンテンツ東京2025でのコラボレーション展示も決定　～

左から、CH ホールディングス代表取締役 和田 篤司、WIT COLLECTIVE 代表 CEO 大嶌 諭、ヒビノ取締役常務執行役員 芋川 淳一

ヒビノ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：日比野晃久）は、当社グループで映像を中心に広告制作サービスを展開する CH ホールディングスと共に、DO/AI サービスを手掛ける WIT COLLECTIVE 合同会社（本社：東京都港区 代表 CEO：大嶌諭）とパートナーシップを組み、生成 AI を活用した次世代エンターテインメントの開発を推進することをお知らせいたします。

今回のパートナーシップにより、ヒビノグループが持つライブエンターテインメントの大型映像技術や空間演出のプロデュース力、映像制作ノウハウと、WIT COLLECTIVE の生成 AI 活用力・企画力を掛け合わせることで、エンターテインメントの創造性を拡張し、ますます多様な映像体験価値の提供を目指します。

■パートナーシップの背景

当社ヒビノビジュアル Div.は、国内コンサート・イベント業界における大型映像サービスのパイオニアです。大規模コンサートから大型スポーツイベント、国際博覧会、国際会議まで膨大な現場で培った映像技術と業界屈指の機材力を土台に、2021 年には最新の映像制作技術「インカメラ VFX」(※1)を提供するバーチャルプロダクションスタジオ「Hibino VFX Studio」を開設し、CM、映画、ドラマ、MV など数多くの撮影をサポート。2024 年 5 月には映像制作の一気通貫体制を持つ CH ホールディングスをヒビノグループに迎え、バーチャルプロダクションの一層の普及に取り組んでいます。一方、WIT COLLECTIVE は、「ココロが動く、世界が動き出す。」を掲げ、エンターテインメントの新たな価値をプロデュースすべく、広告・映画・イベント等の知見をもとに、最適なチームでコンセプト設計から制作・展開までを一貫して手がけており、「プロジェクト・プロデュース事業」「AI プロデュース事業」「IP プロデュース事業」の 3 つの事業を展開しています。

両社がともに事業展開する映像制作の現場では、昨今、制作期間の短縮、予算の最適化、そしてより柔軟なクリエイティブ表現が求められるようになっています。両社の強みであるバーチャルプロダクションや生成 AI といった新技術は、こうしたニーズに応える手段として急速に注目を集めています。

ヒビノは、ライブエンターテインメントからバーチャルプロダクションまで幅広いフィールドで培ってきた技術と実績を基に、映像演出表現の可能性を広げてきました。今後は WIT COLLECTIVE との連携により、生成 AI を活用した制作工程の効率化と表現の拡張を図ることで、新しい映像体験の創出を目指します。生成 AI を映像制作や体験演出の現場に自然に取り入れ、次世代エンターテインメント領域のさらなる進化に貢献していきたいと考えています。

生成 AI を活用して「異なる 3 つの集団が融合した新しいシナジー」というコンセプトでアイデアを拡張・可視化し、そのイメージを LED ディスプレイに投影して撮影。左：LED×先端技術による次世代エンターテインメント体験の研究開発拠点「Hibino Immersive Entertainment Lab」、右：バーチャルプロダクションスタジオ「Hibino VFX Studio」

■生成 AI 活用のメリットと共同開発の可能性

高効率・高品質の実現。生成 AI によりクリエイターの頭の中を具現化―映像クリエイティブにもっと自由な表現を

生成 AI を用いることで、クリエイターの頭の中にあるイメージを可視化・具現化するための表現の幅を格段に拡張することが可能になります。企画段階から生成 AI を取り入れることによって、多数の表現の選択肢を提供することができ、その中から最適なものを追求し、柔軟なクリエイティブ表現をすることが可能となります。

また、映像制作と生成 AI の双方に精通する専門家「CreAItive Conductor（クリエイティブコンダクター）」が生成 AI のアウトプットの品質を厳密にコントロールすることで、常に高品質な映像表現の実現が可能です。

（1）バーチャルプロダクションの普及促進

生成 AI を CG 背景の制作に取り入れ、高効率化を図ることで、中小規模のプロジェクトにおいても、表現の幅を広げながらも導入のハードルを下げ、普及率向上を後押しします。

（2）没入型映像体験の共創

両社は、リアルとバーチャルをつなぐ次世代の没入体験コンテンツの開発にも注力していきます。ヒビノの三次元 LED 技術や次世代エンターテインメント体験の研究開発拠点「Hibino Immersive Entertainment Lab」の取り組みに、WIT COLLECTIVE の創造性を融合することで、新たな「共感型イマーシブ体験」を実現。イベントやアトラクション領域における映像体験に新たな価値を創出します。

（3）エンターテインメント領域での協働

コンサート・イベント領域に深い知見を持つヒビノのノウハウ・機材力・営業基盤に、WIT COLLECTIVE が強みとする体験価値のプロデュース力を掛け合わせることで、「エンターテインメント体験の総合プロデュース」が可能になります。制作からアウトプットまでを一貫して支援する体制を整え、より多様なニーズに応えていきます。

■今後の展開

ヒビノグループは、大型映像サービス・映像制作サービスで培ってきた技術力・企画力を基盤に、WIT COLLECTIVE とのパートナーシップを通じて生成 AI を積極的に活用し、コンセプト設計から映像表現に至るまで、より高効率・高品質な制作を推進することで、次世代エンターテインメントの創造と普及に取り組みます。具体的には、これまでバーチャルプロダクションの利用にハードルがあったミュージックビデオ制作への展開拡大や、演出が重視されるスポーツエンターテインメントやコンサート分野への応用を進め、表現者が見せたい、伝えたいイメージを情緒的に具現化し、世界観に深い共感と没入を得られるような空間・体験を追求していきます。アーティストやクリエイターの発想力・表現力の拡張と新たな体験価値の創出を目指し、社会に感動と驚きを届けるための挑戦を続けてまいります。

【第一弾プロジェクト】
コンテンツ東京 2025 でのコラボレーション展示を実施

2025 年 7 月に開催される「コンテンツ東京 2025」では、CH ホールディングスの株式会社 RECO の出展ブース内で、ヒビノと WIT COLLECTIVE による初のコラボレーション展示を実施します。ヒビノが保有する最新鋭のカーブ型 LED ディスプレイ・システム「ROE Topaz-C1.9」をふんだんに使用し、WIT COLLECTIVE による生成 AI を活用したコンテンツを組み合わせることで、独創的な空間映像演出で新たな体験を創出します。今後の展開に先駆けた初の取り組みとして、ぜひご注目ください。

展示会名：コンテンツ東京 2025
会　　期：2025 年 7 月 2 日（水）～4 日（金）
会　　場：東京ビッグサイト　西展示棟
ブース番号：1 ホール　小間番号：8-14

■各社の概要

WIT COLLECTIVE 合同会社

「ココロが動く、世界が動き出す。」
WIT COLLECTIVE は、エンタテインメントを「心を動かす力」と再定義。感情を起点に、従来の事業ドメインにとらわれず、エンタテインメントをプロデュースします。心が動いたとき、人は行動し、語り、広がる。イベント・映像・生成 AI・IP 等を集合知で掛け合わせ、社会、そして市場を動かす原動力へと変換していきます。

代表者：代表 CEO　大嶌　諭
設立：2024 年 6 月 1 日
公式サイト：https://wit-collective.jp/

ヒビノ株式会社

1964 年の設立以来「音と映像で、世界に感動をクリエイトする」というパーパスの下、音響と映像を中心とした製品・商品・サービスを展開。日本のコンサート・イベントの黎明期から業界をリードする音響・映像のパイオニアです。音と映像の可能性を切り拓き、常に新しい感動空間の創出に挑戦し続けています。

代表者：代表取締役社長　日比野　晃久
設立：1964 年 11 月 13 日
公式サイト：https://www.hibino.co.jp/

CH ホールディングス株式会社

多様な専門性をもつ広告・コンテンツ制作企業 10 社で構成されたホールディングスカンパニー。フィジカル領域の展開強化を見据え、2024 年にヒビノ株式会社と事業提携を締結。空間デザイン、イベント演出、インタラクティブメディアなど、リアルな場での体験価値創出を核とした“体験クリエイション”を新たな成長ドメインに据え、フィジカルとデジタルを横断する新たな事業領域の確立を目指しています。

代表者：代表取締役　和田　篤司
設立：2014 年 9 月 1 日
公式サイト：https://the-ch.com/

（※1）インカメラ VFX：バーチャルプロダクション撮影技術。LED ディスプレイに背景となる映像を映し、被写体と合わせて撮影することで自然な合成映像をリアルタイムにつくり出す。カメラの動きに背景映像を連動させることで自然な奥行き表現を可能とする。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ】

お客様からのお問い合わせ
ヒビノ株式会社　ヒビノビジュアル Div.
担当：東田
お問い合わせフォーム：https://www.hibino.co.jp/support/input-visual.html

報道関係者様からのお問い合わせ
ヒビノ PR 事務局（㈱イニシャル内）
担当：金海・近・石坪・岸本
E-mail：hibino_pr@vectorinc.co.jp

ヒビノ株式会社ヒビノ GMC 経営企画グループ広報課
TEL：03-3740-4391（代表）
E-mail：ir@hibino.co.jp